

報道機関 各位

社会福祉課 保護支援係

タイトル ひきこもり啓発フォーラムの開催について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	ひきこもり啓発フォーラム「家族の想いと当事者のホンネ」
日時	令和4年9月7日（水） 13時30分～16時
場所・住所	赤穂市総合福祉会館3階 集会室 （赤穂市中広267番地）
趣旨・目的（PRしたいこと）	<p>ひきこもり対策推進事業として、赤穂市社会福祉協議会との共催で市民向けのひきこもり啓発フォーラム「家族の想いと当事者のホンネ」を開催します。</p> <p>当日は、ひきこもり支援の第一人者である神戸市看護大学の船越明子教授の基調講演のほか、パネルディスカッションでは、ご家族等にも参加いただき、日頃の想いを伝えていただける内容となっています。</p> <p>フォーラムは、事前申込制となっていますので、参加をご希望の方は、事前の申し込みをお願いいたします。</p> <p>申込先 赤穂市社会福祉協議会（赤穂市中広267番地 赤穂市総合福祉会館内） 電話 0791-42-1397 FAX 0791-45-2444 Email ako-shakyo@ako-shakyo.jp</p> <p>参加定員 50名（赤穂市民優先） 申込締切 8月31日（水）</p>
問い合わせ先	部課係名：健康福祉部 社会福祉課 保護支援係 担当者名：児島、富田 電話：0791-43-6807（直通） FAX：0791-45-3396

添付資料 (有)・無)

○ホームページへの掲載 (有)・無)

議会報告 (有)・無)

「家族の想いと 当事者のホンネ」

9月7日
(水)

13:30~16:00

第1部

基調講演 「不登校・ひきこもりの状況にある人と家族への支援」



講師 神戸市看護大学 教授 船越 明子 氏

2010年東京大学大学院医学系研究科博士後期課程修了 博士(保健学)。

兵庫県立大学などを経て2019年4月より現職。ひきこもり青年をもつ親の支援をライフワークとして取り組んでおり、家族会、ひきこもり地域支援センター、保健センター等で講演や助言活動を行っている。

参加
無料

近いと見え
ないことも
ある

第2部

パネルディスカッション

コーディネーター 船越 明子 氏

登壇者

【家族】特定非営利活動法人陽だまりの会 代表 松井 勝也 氏

【当事者】ひきこもり当事者

【支援者】認定特定非営利活動法人コムサロン21 副理事長 谷口 慎一郎 氏

【相談窓口】赤穂市役所 社会福祉課 相談窓口「え〜る」相談員

【居場所】赤穂市社会福祉協議会 ひきこもり支援事業担当者

今だから
言えることも
ある

- 開催場所 総合福祉会館3階 集会室(赤穂市中広267)
- 定員 50名(市民優先・要予約)
- 申込方法 裏面の申込用紙に記入し、電話、FAXまたはメールにてお申込みください。

当日の流れ



13:30~13:40 (10分) 開会・オリエンテーション

13:40~14:20 (40分) 第1部 基調講演

14:20~14:30 (10分) 休憩

14:30~16:00 (90分) 第2部 パネルディスカッション

16:00 閉会

ひきこもりとは



ひきこもりの定義

【6か月以上】

広義のひきこもり



趣味の用事のみだけ
外出する

準ひきこもり

近所のコンビニなどには
出かける

自室からは出るが、
家からは出ない

狭義の
ひきこもり

自室からほとんど出ない

2016年内閣府「若者の生活に関する調査報告書」より

「長野県庁 HP」

様々な原因で長期間自宅などから出ず、自宅外での生活の場がない状態のこと。特定の精神疾患を有するものとそうでないものがあり、社会問題化しています。

厚生労働省の定義では、ひきこもりは単一の疾患や障がいの概念ではなく、「さまざまな要因によって社会的な参加の場が狭まり、就労や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態」とされています。

「厚生労働省 e-ヘルスネット」

ひきこもり啓発 フォーラム参加申込書

参加ご希望の方は、下記項目を記入していただき、電話、FAX またはメールにてお申込みください。

申込締切：8月31日（水）

	氏名	住所	電話番号
1			
2			
3			

● 申込・問合せ先 赤穂市社会福祉協議会
赤穂市中広 267 番地（総合福祉会館内）
TEL：0791-42-1397 FAX：0791-45-2444
Email：ako-shakyo@ako-shakyo.jp